

## 老年医学

責任者・コーディネーター	神経内科・老年科分野 寺山 靖夫 教授		
担当講座・学科(分野)	神経内科・老年科分野、衛生学公衆衛生学講座、整形外科学講座、外科学講座、泌尿器科学講座、臨床検査医学講座、臨床腫瘍学講座、薬学部臨床薬剤学講座		
担当教員	寺山 靖夫 教授、佐々木 章 教授、諏訪部 章 教授、伊藤 薫樹 教授、工藤 賢三 教授、小野田 敏行 客員教授、大森 聡 准教授、及川 伸也 助教		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12.0 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

老年医学は、生体の加齢変化とその機序の解明、老年者の診断・治療における問題点とその対策、保健・福祉上の諸問題とその対策などを対象とする学問である。

### ・教育成果（アウトカム）

生理的加齢変化、老年者の特徴を学び、感染症、悪性腫瘍、泌尿器疾患、骨疾患など老年者に多い疾患・症候についての総合的知識を獲得する。それを応用し老年者に対する薬物療法、外科的治療、麻酔に関する留意点などについて理解する。（ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7）

### ・到達目標（SBO）

1. 寿命と加齢変化に関する病態を説明できる。
2. 正常の老化について説明できる。
3. 老年者の特徴、症候、治療、留意点を十分把握して説明できる。
4. 老年の免疫、感染症の重要事項や問題点を説明できる。
5. 老年者の臨床検査値の特徴を説明できる。
6. 老年者の外科における診断と治療における重要事項や問題点を説明できる。
7. 老年者の腎機能、排尿機能及び性機能の特徴を説明できる。
8. 老年者の悪性腫瘍の特徴を説明できる。
9. 老年者における薬物療法の注意点を説明できる。
10. 老年者の麻酔における特徴や問題点を説明できる。

11. 老年者の骨粗鬆症における骨折、関節症の特徴と問題点を説明できる。
12. 老年者の保健・福祉・介護について重要な事項を説明できる。
13. 老年者の特徴をふまえた診察を行うことができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/24	水	3	臨床腫瘍学講座	伊藤 薫樹 教授	老年者悪性腫瘍
5/24	水	4	神経内科・老年科分野	寺山 靖夫 教授	寿命、加齢変化の分子生物学、老年者の特徴、症候
5/31	水	3	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	老化と免疫、老年者の感染症、老年者の臨床検査値
5/31	水	4	泌尿器科学講座	大森 聡 准教授	老年者の腎・排尿・性功能
6/7	水	3	整形外科科学講座	及川 伸也 助教	老年者の骨折、骨粗鬆症と関節症
6/7	水	4	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	老年保健福祉介護
6/12	月	1	薬学部 臨床薬理学講座	工藤 賢三 教授	老年者と薬物療法
6/12	月	2	外科学講座	佐々木 章 教授	高齢者の外科

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	新老年学 3 版	大内尉義、秋山弘子 編	東京大学出版会	2010
推	老年医学テキスト 改訂 3 版	日本老年医学会 編	メジカルビュー社	2008
推	ベッドサイド老年病学	山城守也 他編	南江堂	1994
推	老年期の薬物動態学	Wolfgang A. Ritschel 著、岩本文一 訳	薬業時報社	1991
推	標準外科学 14 版	畠山勝義 監修、北野正剛、田邊稔、池田徳彦 編集	医学書院	2016
推	標準泌尿器科学 9 版	赤座英之 監修	医学書院	2014
推	ベッドサイド泌尿器科学 改訂 4 版	吉田修 監修	南江堂	2013
推	高齢者の麻酔：これからの時代に対応するために	稲田英一 著	真興交易医書出版部	1995
推	国民衛生の動向（厚生指標臨時増刊）最新版	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2016
推	高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015	日本老年医学会 編	メジカルビュー社	2015

・成績評価方法

試験成績により評価する。

・特記事項・その他

1. 寿命、加齢変化
2. 老年者の特徴、症候、治療、留意点
3. 老年者の介護・福祉
4. 老年者の排尿障害

5. 老年者の骨折、骨粗鬆症と関節症
6. 老化と免疫、感染症
7. 老年者の臨床検査値
8. 老年者と薬物療法
9. 老年者と悪性腫瘍
10. 老年者と外科

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			